

事例番号:380062

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第三部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 5 日

7:00 頃- 腹痛、腹部板状硬を認める

9:45 腹痛のため搬送元分娩機関に入院、間欠的胎児心拍数聴取で胎児心拍数異常(胎児心拍数 80 拍/分)

4) 分娩経過

妊娠 37 週 5 日

10:40 常位胎盤早期剥離疑いのため当該分娩機関に母体搬送され入院

11:00 常位胎盤早期剥離のため帝王切開にて児娩出、クーペール徴候、多量の凝血塊、胎盤はほぼ全体が剥離している状態を認める

胎児付属物所見 胎盤病理組織学検査で凝血付着部分直上の絨毛にうっ血を認める

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 5 日

(2) 出生時体重:3100g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.68、BE -31.6mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 3 点

(5) 新生児蘇生：気管挿管、人工呼吸（チューブ・バッグ）、胸骨圧迫

(6) 診断等：

出生当日 重症新生児仮死

(7) 頭部画像所見：

生後 8 日 頭部 MRI で低酸素性虚血性脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分：診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名

看護スタッフ：助産師 1 名、准看護師 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分：病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師：産科医 2 名、小児科医 3 名、麻酔科医 1 名

看護スタッフ：助産師 1 名、看護師 4 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、常位胎盤早期剥離による胎児低酸素・酸血症によって低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。

(2) 常位胎盤早期剥離の関連因子は認められない。

(3) 常位胎盤早期剥離の発症時期を特定することは困難であるが、妊娠 37 週 5 日の 7 時頃またはその少し前の可能性があると考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価（2020 年 4 月改定の表現を使用）

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関

ア. 入院時の対応（腹部触診、分娩監視装置装着）は一般的である。

- イ. 妊産婦の症状(腹痛、腹部板状硬)、間欠的胎児心拍数聴取で胎児心拍数異常(胎児心拍数 80 拍/分)、また、胎児心拍数陣痛図で基線細変動の乏しさが認められたことから常位胎盤早期剝離を疑い、当該分娩機関へ母体搬送を決定したことは選択肢のひとつである。

(2) 当該分娩機関

- ア. 妊産婦の症状(腹部板状硬)および超音波断層法所見(胎児心拍数 60 拍/分の徐脈、著明な胎盤の肥厚)より常位胎盤早期剝離と診断し、帝王切開を決定したことは一般的である。
- イ. 帝王切開決定から 12 分後に児を娩出したことは適確である。
- ウ. 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- エ. 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸、胸骨圧迫)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

胎児心拍数陣痛図を 5 年間保存しておくことが望まれる。

【解説】本事例は、胎児心拍数陣痛図が保存されていなかった。「保険医療機関及び保険医療費担当規則」では、保険医療機関等は、医療および特定療養費に係る療養の取り扱いに関する帳簿及び書類その他の記録をその完結の日から 3 年間保存しなければ

ならない。ただし、患者の診療録にあつては、その完結の日から 5 年間とするとされている。胎児心拍数陣痛図は、原因分析にあたり極めて重要な資料であるため、今後は診療録と同等に保存することが望まれる。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

常位胎盤早期剥離は、最近の周産期管理においても予知が極めて困難であるため、周産期死亡や妊産婦死亡に密接に関与する。常位胎盤早期剥離の発生機序の解明、予防法、早期診断に関する研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。